

南山城

議会だより



No.125

2019.11.1

南山城村議会



9月定例会

2P 補正予算

4P 決算認定

5P 条例改正

6P 委員会報告

8P 一般質問

16P むら北南

テレビ・インターネット民間移行

委員会では不認定 本会議で認定

子育て支援を拡充

総務厚生 村内医療施設責任者と懇談

土木経済 田山地域の無断開発 工事中止

8人が村政を問う

目指せ未来のプロ野球選手

未来への力走

南山城小学校

アース
南山城Earth

ネットを民間移行

9月定例会



村のテレビとインターネットを民間へ

予算決算常任委員会

原木椎茸の大幅予算可決

令和元年第3回定例会を9月10日から27日までの会期で開催しました。令和元年度一般会計補正予算・国民健康保険・簡易水道・介護保険・高度情報ネットワーク特別会計補正予算と平成30年度一般会計決算認定・5特別会計決算認定は予算決算常任委員会（梅本委員長）に付託し、令和元年度一般会計補正予算と4特別会計補正予算は全員賛成で可決。平成30年度一般会計決算は賛成少数で不認定。簡易水道特別会計決算は賛成多数で認定、4特別会計決算は全員賛成で認定。10日には8人の議員が村政を問いました。

補正

予算

令和元年度
一般会計

補正額（増）

2億3777万円

総額

26億6910万円

【総務費】

質問・答弁

Q 2020年1月でウ

- インドウズ7のサポートが終了する。普通のパソコンであれば、ハードウェアを購入せずに、ソフトウェア更新で、できるはず。単純に割り算すると1台60万円。なぜこんなに高いのか。
- A 役場内のパソコンは一般的なパソコンとは構成が違う。この値段は1社の見積もり。入札によりこれより安くなる予定。
- Q 1月の終了するまでに間に合うのか。業者に確認できているのか。
- A サポート終了までに間に合わせる。
- Q 高度情報ネットワークに2億5千万円もかけて、民間に移行しようとしている。目的は何か。
- A 開始から10年が経過、ネットの通信速度遅れが生じている。テレビでは4Kに対応できていないので、辺地債と過疎債を使って民間移行したい。
- Q 村が、このまま続けていたら、数年後には3億5千万円ほどかかると聞いた。今回のように辺地債とか過疎債が使えるのか。
- A 辺地債や過疎債は使えない。補助金などが、付くかもしれない。

②補正予算

④決算報告

⑥常任委員会報告

⑧一般質問・中山

⑩一般質問・鈴木

⑫一般質問・奥森

⑭一般質問・梅本

⑯村北南

村のテレビ・インター

主な一般会計補正予算

電算管理事業	5606万円
庁舎管理事業	462万円
魅力ある村づくり費	110万円
高度情報ネットワーク民間移行事業	1億2760万円
茶振興対策事業	509万円
林業振興対策事業	275万円
災害対策費	700万円
東部広域連合塵芥負担金（塵芥処理分）	578万円
地域ＩＯＴ実装推進事業	966万円

【農林水産費】
Q 林業振興対策で椎茸生産組合員に補助とあるが、組合に補助するの個人に補助するののか。
A 施設の補助で、3つの椎茸組合に加入の方、50%の補助で申請し確認してから個人へ渡す。
Q 茶業振興対策費はどんな仕組みになっているのか。
A 京都府の補助率が40%、村が5%で、優良茶園振興事業・茶園環境改

善事業・共同製茶等省力化推進事業の3つがある。今回は、共同製茶等省力化推進事業の乗用型茶園管理機の申請があった。
【土木費】
Q 道路整備の区民協働事業とは何か。
A 区からの要望をスピーディーに解決したい。危険性の低いものを村が設計して、区民が実施。

全員賛成 可決

令和元年度 特別会計

国民健康保険

補正額（増）

4469万円

総額

4億7443万円

全員賛成 可決

簡易水道

補正額（増）

100万円

総額

2億3423万円

全員賛成 可決

介護保険

補正額（増）

1729万円

総額

3億8923万円

質問・答弁

Q デイサービスふれす

この備品購入予算は付いているのか。
A 机は、3卓。椅子9脚は12月搬入。

全員賛成 可決

高度情報ネットワーク

補正額（増）

693万円

総額

8714万円

質問・答弁

Q 放送サービス4つの事業の内容を具体的に聞きたい。
A ①南山城村シェルター無停電電源装置の交換
 ②NTT奈良三条ビル内の無停電電源装置の交換
 ③フリーWiFiの電源供給。
 ④設備支障移転やテレビ管理センター保守工事。

全員賛成 可決



老朽化した原木椎茸暖房の施設

決算

報告

平成30年度
一般会計

質問・答弁

Q 道の駅の使用料に収入未済額がある。昨年は

委員会では不認定 本会議で認定

どうだったのか。

A 道の駅売上の3%後期分の使用料が5月末までに入らず、6月1日に入った。決算上は収入未済額となった。前年度は年度内に入っている。

Q 椎茸工場の企業誘致の件で、議会で十分議論があったのか。

村は原木椎茸でブランド化してきた。村の原木椎茸がないがしろにされないか。

A 議会からも、再三再四、質問されている。原木椎茸と、菌床椎茸はキッチンすみ分けはされている。企業に輸送を任することなどが考えられる。

反対討論

齋藤議員

賛成討論

吉岡議員

大型開発に村の大事な予算が使われ、電算管理事業に湯水のごとく予算が使われている。メガソーラー開発は京都府任せになっている。

村の活性化を図るといふ目的で、道の駅を作った。雇用の確保を民間でもと、企業誘致した。災害復旧事業の対応など住

村のブランド原木椎茸

民福祉の向上につながる。

反対討論

久保議員

道の駅決算は赤字で十分な対策をしていない。パソコン更新・高度情報ネットワーク民間移行を30年度にしていれば消費税10%にはならなかった。

不認定 賛成少数

賛成 奥森、北、吉岡
反対 鈴木、齋藤、中崎、久保、中山

平成30年度
特別会計

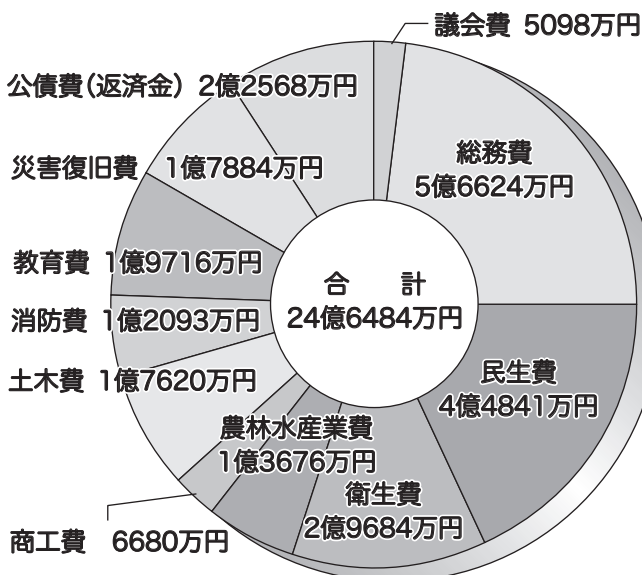
国民健康保険

質問・答弁

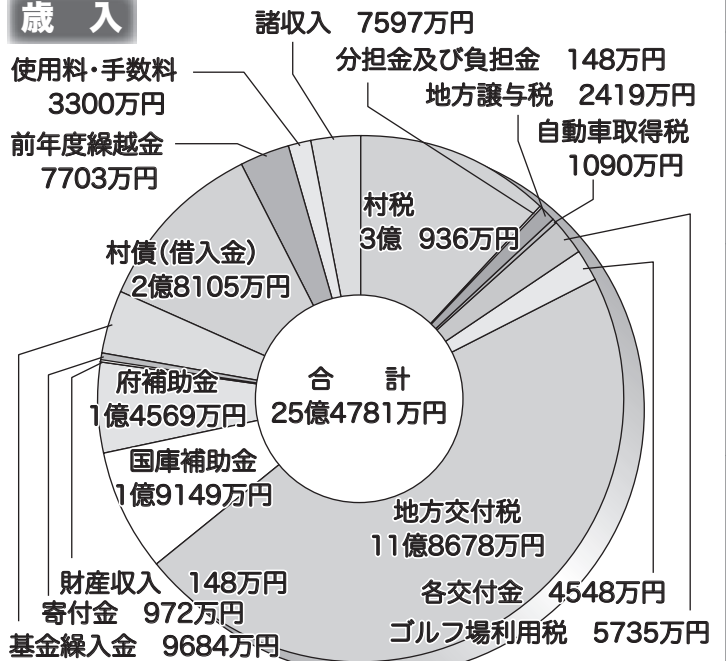
Q 保険給付費の支出済み額を見ると3分の2しか使っていない、なぜか
A 平成30年度は医療を受けた方が少なかった。

認定 全員賛成

歳出



歳入



簡易水道

賛成 奥森、北、吉岡

反対 鈴木、齋藤、中山

認定 賛成多数

介護保険

質問・答弁

Q 介護予防住宅改修費
40%近く減っている。

何が原因か。

A 前年に比べて事業の利用者が少なかったため。

Q 介護予防サービスで、
300万円減額されているが。

A 対象者の方からの要望がなかったため減額。
平成29年度から支援事業の方に移行した。

認定 全員賛成

高度情報ネットワーク

認定 全員賛成

後期高齢者医療

質問・答弁

Q 健康保持増進事業で
51万円不用額になっている。
健康診断を受けるための啓もうは。

A 後期高齢者の場合、
特定健診は本人負担は、

0円。

健康カレンダーと放送
で特定健診の日と個別検
診の情報を啓発している。

認定 全員賛成

本会議では、一般会計
決算、簡易水道会計は賛
成多数で認定。
4特別会計は、全員賛
成で認定しました。

諮問第一号

人権擁護委員



おおなか
大仲 順子さん 本郷区

全員賛成

新人議員紹介



久保 憲司
土木経済委員会所属



中山 明則
総務厚生委員会所属

条例改正

子育て支援を拡充



楽しくあそぶ園児たち（南山城保育所）

① 保育所を利用する3歳
から5歳までの全ての子
どもの利用料が無償化さ
れます。

② 0歳から2歳までの子
どもたちについては住民
非課税世帯を対象に無償
化されます。

③ 印鑑登録において、旧
姓での印鑑証明への併記
が可能になりました。

可決 全員賛成

意見書の採択

国民保険税引き下げのための国庫負担の
増額を求める意見書

【内容】

国民保険制度は、国民
の4人に1人が加入し、
国民皆医療保険の柱とな
っている。しかし滞納世
帯が、全体の15%超える
状況となっている。

賛成 奥森、北、鈴木
齋藤、久保、中山
反対 梅本、吉岡、中崎

採択 賛成多数

【主な補正内容】

一般会計補正予算専決
処分

【内容】

南山城村議会議員補
欠選挙事業 173万円

承認 全員賛成

臨時議会

令和元年第1回臨時議
会が、7月30日に開催さ
れる。

総務厚生

村内の医療施設責任者と懇談

第4回 7月30日

【内容】

・中山議員（新議員）の紹介。
・行政から高度情報ネットワークの説明提案があ

つたが、金額が大きいので全員協議会での説明会にすべきと提案。
※後日、行政より8月末に全員協議会を実施する連絡。
・今年度の議会報告会内

容について論議。

・医療施設の開設についての説明要望意見があり、行政に説明依頼を要請したが、進展ないとの回答。

8月8日

村内、内科小児科医院の医師と懇談

9月9日

村内、歯科医院の医師と懇談

※後日、村長と保健福祉課に懇談内容を説明。特に、歯科対応を要望。

懇談会後の委員の懇談で、村長も代わり高齢者福祉施設関係は、実現の可能性もでてきた。委員会も情報を集めて、前向きで取り組む。

土木経済

田山地域の無断開発、工事中止

第5回 8月5日

【議事】

説明員 総務課長
建設水道課長
産業観光課長

①総務課長より田山割尾阪の無断開発の説明
住民より「土入れ作業」をしていると村に連絡。

村は現場を確認した。
この地域は砂防指定地域のため、府土木事務所に相談した。

土木事務所と保健所は合同で作業中止と計画書提出を指導した。
指導後に土砂搬入が一度あったが、その後は重機も搬出され作業中止中。

②建設水道課長より今山交差点の現状説明

【工事費】
9億5000万円



完成が待たれる交差点（今山）

【事業完成】

令和2年度の予定が、令和3年へずれる可能性。

③産業観光課長より茶の降霜被害の説明

現状、金額で6億3200万円。昨年対比で71.9%。今後、秋番茶・秋碾茶を含めても7億円は難しいとの予測。

過去10年の実績は平成26年の8億3100万円が最低。
救済策としては、JAより上限200万円無利子で3年返済の資金融資。

④その他

太陽光発電で利水の関係や村道などの対応すべき事が多い。



医療施設建設予定地（道の駅隣接地）

相模東部広域連合

第1回臨時会が6月11日に開催。
主な案件は次の通り。

平成30年度 一般会計 補正
補正額(減) 9063万円
補正後 12億3470万円
村負担額 897万円

可決 全員賛成

第2回定例会が8月2日に開催。
主な案件は次の通り。

【一般質問】 鈴木議員

①教育職員の超過勤務時間
短縮

②教育課程編成・実施状況

③不登校・いじめ問題

【議案】

「連合立笠置町中央公民館
設置条例の廃止。」

機能は笠置町産業振興会
館に9月から移行。

令和元年度 一般会計 補正

補正額(増) 4622万円
補正後 10億664万円
焼却施設休炉に伴う設備内清
掃費。
クリーンセンター擁壁安全対
策調査費。

可決 賛成多数

物品購入契約の締結

小中学校校務用コンピューター
契約金額 1350万円

可決 全員賛成



クリーンセンター安全対策調査(和束町)

京都府後期高齢者医療広域連合

第2回定例会が8月9日に開催。
主な案件は次の通り。

【一般質問】 2人
①保険料及び一部負担金引き上げ
の対応
②被保険者の負担軽減
③不均一保険料の復活
④短期保険証発行の中止
⑤保険証の留置

令和元年度 一般会計 補正
補正額(減) 3321万円
補正後 8億1549万円

可決 全員賛成

京都府地方税機構

第2回定例会が8月2日に開催。
主な案件は次の通り。

【議案】

「京都府地方税機構第3次広域計画
変更の件」

「京都府地方税機構事務の処理等に
関する条例一部改正の件」

【一般質問】 2人

①地方税機構の今後の方向性

②納税者の立場に立った徴収業務
③職員の働き方

平成30年度一般会計決算
歳入額 24億9023万円
歳出額 24億8871万円
差引差額 152万円
村負担額 381万円

認定 賛成多数

お知らせ

議会報告会を開催

令和元年11月30日(土)

やまなみホール 研修室

午後2時

ズバリ直言

村政を問う

一般質問

Q&A

中山

村道の整備の現状は

村長

早期の復旧完成を目指す



通行止の大河原多羅尾線

Q 村道大河原多羅尾線の通行止めの原因と解除の用途は。

A 村長 原因はH29年・H30年の台風・豪雨災害による災害復旧工事によるもの。11月29日完全復旧を目指している。

Q 村道大河原東和束線の拡幅工事・待避所増設は長年の地元の要望である。工事の予定は。

A 村長 待避所増設は今年度測量を行い、順次工事を行う。拡幅工事については保安林地域・地

一般質問は事務の執行状況、将来の方針などの所信や疑問をただし、政治責任を明確にし、結果として、「現行の政策変更や新規政策を採択」させる効果があります。



中山明則 議員

権者交渉など課題が多い。

Q 観光道路でもある大河原多羅尾線、大河原東和束線での既存の「待避所」を知らせる案内看板設置が必要ではないか。

A 村長 現在計画はない。今後現地を調査し検討する。

Q 復旧・舗装を待たれている村道が多数あるが、今年度中の予定は。

A 村長 NT内26号線の舗装計画。その他の村道についても予算内で順次着工していく。

コミュニティバスの運行、村民の声を基に見直しを

Q コミバスのさらなる利便性を高めるために、利用者の意見・要望を直接聞く場を作るべきであるが、見解は。

A 村長 京都府の支援の下「地域公共交通会議」設置を予定している。

この秋、村内5、6カ所で懇談会を開催する予定である。

Q 停留所以外でも乗降できる「自由乗降システム」にするべきと考えるが、見解は。

A 村長 「交通会議」で協議・検討したい。

Q 利用者の意見をもとにルートの変更など運行の見直しをするべきでは。

A 村長 新モビリティサービス推進事業などを

活用して、2020年1月中旬以降に実証実験をNTエリアで行う。

その検証データを基にオンデマンドタクシーなど「交通会議」で交通網の充実を検討したい。

「開発規制条例」の制定を

Q 村の環境を守るための「開発規制条例」制定すべきでは。

A 村長 開発指導で対応している。それ以外に有効な手立てがあるかを検討していきたい。

防災施策見直しが必要では

Q 最近の豪雨災害などに対応できる「防災マップ」の見直しが必要ではないか。

A 村長 防災力向上のため、意識改革を図ると共に、最新データに基づくマップの見直しも検討する。

一般質問

村の一般質問の時間は、質問と答弁を合わせて45分間です。
また、村長には議員の質問に対する反問権を付与しています。

齋藤

これからのメガ開発の対応は

村長

村民の利益最優先で対処



齋藤和憲 議員

Q 前村長はメガソーラー開発の許可は京都府として、村民の願いより、業者優先の行政をしてきた。今回、住民本位を掲げた村長が当選した。住民の期待がある。

①村は村民の立場に立ち開発業者を指導すべきだ

②除草剤は使用しないと



メガソーラー工事現場（押原）

しているが、新村政の方針を再度確認したい。

③開発業者から太陽発電等寄贈を受けるが、引き換えに本事業の実現が覚書で確認されている。村は開発業者に何も言えないのではないか。

A 村長 ①開発事業者には許可条件及び協定書を遵守させる。開発業者の対応は毅然とした態度で、常に対等の立場で村民の利益を最優先に対処する。

②「農業及び除草剤は使用しない」と、開発業者

に確認を取っている。

③村民の利益を最優先に対処する。

Q 奥田道の路肩検査、住民優先の通路を徹底するように指導すべきだ。

A 村長 住民からの指摘があったら、対応する。

Q 監視活動を強めると聞いている。特に完成後に懸念される、水質、大気、電磁波などは今からやるべきだ。

A 村長 検討する。

NT汚水処理施設に積極的関与を

Q 月ヶ瀬ニュータウンの汚水処理施設は村と開発業者とで結ばれ協定書で運営されてきた。

今まで、自治会は村へ施設移管や村の対応を訴えて来た。前村政は村の重要なライフラインにも関わらず、協定書の5条（維持管理は永久的に開発業者が行う）を理由に何ら対応しなかった。今後積極的に関与されるの

か確認したい。

A 村長 2者協議（行政・自治会）や4者協議（開発業者含）を踏まえ行政で支援できる方法を検討したい。

Q 実施する2者協議に村長も出席を。

A 村長 出席する。

これからのネットワーク事業は

Q 南山城村高度情報ネットワーク事業。

①現在の加入数は。

②現システムの基本的な問題点は。

A 村長 ①今年の3月末でネットワーク事業加入数は1125件。ネットワーク接続は544件。

②高度情報ネットワークは開始から10年経ちサービス内容の更新がされていない。サービスを向上させるためにも民間移行を考えている。

Q テレビだけ受信の住民意見も十分聞いて、検討すべきだ。



45年経過した合併浄化槽施設（NT）

保育園児は全て無料化を

村長

2歳児以下も検討している

Q 3〜5歳児10月からの保育料は食材費も取らず無料化はできるのか。

A 村長 無料で進める。

Q 子どもが育つ環境として保育園は大事。〇〇

2歳児についてはどうか。

A 村長 検討している。地元が高齢者介護施設を早く

Q 施設介護計画はどうなっているか。

村には介護事業者は社協しかない。一体になっ

A 村長 「宿泊サービ

ス」は村独自施策で、介護保険法・老人福祉法にも規定がない。「白紙」も視野に入れ結論を出す。村主体の運営は難しい。社会福祉法人での高齢者福祉施設整備を進める。

Q 在宅介護に村は何をしているのか。

A 村長 要支援1・2はデイサービスふれすこで実施。要介護3以上に介護用品を支給。



鈴木かほる 議員

Q 8月の施設利用は、100人を越す。地元にないため、とても不自由な思いをしている。

国はさらに要介護1・2も介護保険から外そうとしている。この方たちを支える計画を早く立てるべきだ。

A 村長 第9次高齢者福祉計画に反映する。

道の駅ホテル関係の安全対策を

Q 工事中の安全対策は。

A 村長 事業者が、ガードマンを配置する。

Q 地元今山区では工事の説明があり要望も出ているが、村民は知らされていない。

A 村長 村民には、掲示板・防災無線でも知らせる。



工事が始まった道の駅ホテル

Q 事業開始後のホテル・医療機関・道の駅など周辺道路の安全通行計画はできているか。

A 村長 混雑時・進入路など今後検討していく。

農業後継者の育成を

Q 霜被害の補償に村はどんな対応をしたのか。

A 村長 村は防虫消毒剤・油粕の配布をした。

Q 茶農家の要望は被覆

棚設置・改植・乗用摘採機導入と聞いている。府や国への補助要望は。

A 村長 宇治茶生産継承支援事業の復活を要望している。

Q 後継者育成のための計画は。

A 村長 お茶の高商品化、原木しいたけの乾燥加工や、出汁など商品化をし、森林税を活かした山の活用も考えたい。



親子で楽しくたまのせ（保育所運動会）

一般質問

久保

子育て環境整備を急げ

村長

効果的な施策を講じたい



久保 憲司 議員

Q 子育て世代の若者の転出が役場の職員でも起きている。要因をどう分析しているか。

A 村長 理由は様々であるが、塾通いや高校生以上の通学などの利便性で転出し、その延長上で就労先が村外になっているのではないかと。保健師をはじめ専門家を含めたプロジェクトチームを作ってニーズの把握を行い効果的な施策を講じたい。



東部連合傘下の南山城小学校児童

Q 児童教育について「東部連合教育機関」の見直しを含め、抜本的な政策転換が必要ではないか。

A 村長 軽々には語れないが、斬新な改革を検討するうえでは支障となることは否めない。

村づくりの軸足はどこに

Q 所信表明の第一に観光事業を取り上げている、軸足はどこに置くのか。

A 村長 村政全般に何一つ欠けても成り立たない。ただし、農業一つを取り上げても、農産物の生産だけでは将来の展望は開けない。六次化を目指した加工品の開発や農作業そのものを商品に見立てた体験観光など新たな視点に立った事業展開が必要と考える。

Q 道の駅事業においても小売店舗はできたが肝心の産業開発に繋がっていない。村が農業ハウスを建設して入植者を募る



移行計画中の高度情報ネットワーク施設

ような一歩踏み込んだ政策が必要ではないか。

A 村長 農業に限らず、商工会なども含め具体的な施策を展開していく。

議会中継を一日も早く

Q ケーブルテレビの民間移行が具体化している。議会中継を含めた村の情

報伝達媒体の整備を急がねばならない。

A 村長 4K放送や高速インターネットなどは民間移行に含まれている。時期は明確にできないが、議会中継など自主放送は選挙戦における公約でもあり、積極的に取り組んでいく。

高齢者福祉施設の整備は

整備に向け取り組み

Q 村長の公約として、高齢者福祉施設の建設を目指すと言われているが、具体的にどのような進め

A 村長 ニーズも国の方針も非常に流動的な情勢で全村的に意見を集め、取り組むべき方向を定め

参入する事業者などの選定をして、施設整備等に取り組みたい。

Q 施設整備に向けた思いが弱い決意は。

A 村長 1865筆の署名を重く受け止めている。何とか実現したい。村単独では13億円か

かる。特養50床、ショートステイ30床、20人のデイサービスが最低の施設である。マンパワーの確保も難しい。村独自の整備は断念したい。

村にある施設をリニューアルして、整備できないか事業者を含め協議をしている。

Q 村の福祉計画・介護事業計画では、「お泊まりデイ」を実施すると答申されているが。



奥森由治 議員

A 村長 「宿泊サービス」施設については、いろいろ精査した結果、白紙も視野に入れて結論を出す。

Q 整備に向けては、課題が多いが、村が負担をしても誘致に取り組むのか。

A 村長 その通り、取り組む。

交通弱者対策は

Q 交通弱者対策として、関係者と協議を行い、事業化に向け取り組んでいるが、その内容と今後のスケジュールは。

A 村長 「地域にあった移動の仕組み作り」、「新モビリティサービス推進事業」の二件の交付金、補助金を活用した事業で、地域懇談会を今



工事着工した開発現場（押原地区）

秋に開催し意見集約する。予約型の実証実験では、月ヶ瀬ニュータウンとその周辺を想定している。

Q 現在実施している外出支援サービス事業との関係は。

A 村長 関係者と協議して決めて行きたい。

開発協定の締結は

Q メガソーラー発電所建設工事が着工されてい

るが、村道・準用河川等の協定の締結はどのようなのか。

A 村長 進入路となる村道については、道路法に基づき協議をして工事が進められている。

その他の道路、河川など具体的な協議はしていない。

Q 住民の安心安全のために工事着手前に早く協議するよう指摘しておく。

高齢者福祉施設（木津川市きはだの郷）

一般質問

中
崎

早期に未給水地の解消を

村
長

最優先で取り組んでいく



中崎雅紀 議員

Q 村長は、「観光業で村の発展につなげていく」と述べている。現在村には上水道の未整備地区があるが、この解消なくして観光業の推進は不可能だと考えるがどうか。



南山城村を観光地に（童仙房）

A 村長 野殿・童仙房両地区については区長との意見交換を通じて、具体案を検討中である。

財源の確保や整備の際にかかる各戸の費用負担などについて、住民にも納得のいく内容を来年度予算に計上する。

Q 観光地として発展していくには、衛生面で安心して使える水が村内に

供給されていることが必要だ。

A 村長 野殿・童仙房地区は観光に適した自然豊かな地域であり、最優先で取り組んでいく。

開発行為と自然保護は

Q 村長は自然保護活動に取り組まれ、その点も評価され当選されたと思う。奥田・殿田地区での開発、特にメガソーラーについてはどのような姿勢で対応されるのか。

A 村長 殿田地区のキノコ工場は、事業者から半年程度開業が遅れると聞いている。

メガソーラーは、貴重な自然環境が失われることと同時に、工事によって土砂災害の危険が懸念される。また、事業自体の規模が大きすぎることで、起るさまざまな副作用を心配している。

Q 京都府は許可している事業であるが、村が独自に規制や指導を行っているのか。

A 村長 そのような形にならないよう、業者に指導や要望を行っていく。

道の駅の決算を踏まえて

Q 昨年度の決算で赤字となっているが、道の駅の運営の今後をどのようにとらえているのか。

A 村長 昨年度の来客数やレジ通過数を見ても、南山城村の観光拠点として、近畿圏の中でも認知されている。しかし村内

での更なる消費拡大にはつながっていないのが現状である。

Q 今後赤字が拡大していけば、道の駅の運営も根本的に見直しを行う必要があるのではないかと。

A 村長 体験観光を行う新しい形の運営形態を考えているが、経営方針については今後も村が株主として指導をしていく。



賑わっている道の駅

コミバス以外の交通対策は

村 長

交通再編を計画している

Q 人にやさしい村政の取り組みで、「コミバス」などの他、地域交通「MaaS」の実証実験も視野に入れた事業化に向け取り組んでいる」と村長は所信表明された。

今までは、1カ月ほどのワンコインタクシーや

300円タクシーの実証実験を行って来たが、タブレットを活用した電気自動車を実際に運行できるのか。

A 村長「MaaS」の取り組みは今後注目すべき事業で、京都府の支援で国土交通省に採択され

た「新モビリティ推進事業」は東京五輪に向け全国的に展開されて行くものとして行こうとしている。

村の多様な交通手段の情報提供やサービスの展開となり、実証実験を通じて、地域の交通再編を計画している。

民間移行で議会中継は

Q 身近でわかりやすい村政

①「空きチャンネルで議会中継する」と所信表明されたが、今議会で、提



梅本章一議員

案される高度情報ネットワークが、民間に移行されても、活用できるのか
②子育て環境整備の推進が最重要課題として取り組むものは何か。

A 村長 ①議会中継は移行先の事業者によって異なる。

移行先がケーブルテレビ事業者であれば、空きチャンネルを使い、議会中継を放送することは可能。移行先が電気通信事業者の場合は、インターネット配信などで検討する。

②国で制定された3歳から5歳までの保育料は無償化、0歳から2歳の保育料は非課税世帯を無償化する。

また、子育てに関する地域住民の声を計画・政策として取り上げていき



高齢者サポートハウス（八幡市）

たい。

高齢者施設の整備は

Q 安心して暮らせる村づくりで、高齢者が安心して生活していくための高齢者施設の整備はどうなるのか。

A 村長「宿泊サービス」施設は、精査した結果、

白紙も視野に入れて、これまで長年協議されてきたことも踏まえ結論を出していきたい。

高齢者施設は限られた財源・体制の中で、村が進めることは不可能と判断した。社会福祉法人事

業者などを選定し取り組んでいく。

NT汚水処理施設協議は

Q 道路整備などインフラの充実で、「月ヶ瀬ニュータウン汚水処理施設問題に協議を進める」と所信表明された。インフラ整備を早急に。

A 村長 月ヶ瀬ニュータウン汚水処理施設問題は行政で支援できる方法で検討したい。

道路などのインフラ整備は施工箇所の優先順位を決め有利な財源を確保し進めていく。



茨城県常陸太田市でMaaS実証実験（公明新聞19.7.26掲載）

一般質問

吉岡

村の今後の農業振興は

村長

1・2次産業に力を入れたい



吉岡 克弘 議員

③ 補正予算

⑤ 決算報告・条例改正

⑦ 一部事務組合

⑨ 一般質問・齋藤

⑪ 一般質問・久保

⑬ 一般質問・中崎

⑮ 一般質問・吉岡

Q 5月8日の降霜害には、すでに村・JAからの救済があったが、国や府からはなかった。なぜなのか。

A 村長 府には、降霜の被害確認や被害園の樹勢回復に向けた指導相談など人的補助は受けてい

る。救済は、税金の個人投資を避けるため、さまざまな手段を模索していると聞いている。

国では、「茶共済」「収入保険」など農業共済事業に力を入れ加入推進している。新たな救済は期待できない状況だ。

Q 茶業振興には、村もいろいろ努力されているが、今後どのように守って行くのか。

A 村長 施設整備や乗用型管理機等ハード事業



新方式の防霜ファン（田山）

には、今まで通り取り組んで行く。

担い手の確保には「南山城村茶業塾（仮称）」といったソフト事業との両輪でやって行く。

また、ことしは国際食品・飲料展への出展を通して国内外への販路拡大に努めて行く。

Q 茶業振興対策協議会や農家との協議は。また、担い手についてはどうか。

A 産業観光課長 協議はしている。アルバイトなどの人的不足、宿泊施設がないなど聞いている。

担い手は、まずキツカケをつくり、興味を持って、やってみたい方は茶業塾での対応となる。しかし、実証場所がない状態だ。

村の農地対策は

Q 水田集積対策は。

A 村長 「農地中間管理事業」による農地集積に努めるとともに鳥獣害対策にも引き続き努める。農業機械更新時の廃業

も見受けられるので共同利用による補助も必要だと考えている。

Q 耕作放棄地が増えるにつれ、農道や水路も荒れる。集積を少しでも計画的にできないか。

A 村長 村全体の土地利用計画を検討している。農地も含め考えたい。

特産品への考えは

Q 原木椎茸・トマトなど特産品の今後はどうか。

A 村長 原木椎茸では、

品質向上・生産維持のため、「原木椎茸生産施設補助金」の交付を予算化している。

トマトは、生産者が減少する中「経営所得安定対策等交付金」を活用し、経営安定化に努めている。販路拡大と共にトマト生産者の確保に努めたい。

Q 全体として今後の農業振興は。

A 村長 6次化の元となるものだ。1・2次産業には力を入れたい。



通りにくくなった農道（田山）



団体紹介コーナー No.120

②補正予算

④決算報告

⑥常任委員会報告

⑧一般質問・中山

⑩一般質問・鈴木

⑫一般質問・奥森

⑭一般質問・梅本

⑯村北南

目指せ、 未来のプロ野球選手

南山城Earth^{アース}は結成12年目になる少年軟式野球チームです。
南山城小学校の児童13

人、名張すらん台小学校の児童1人の計14人、子どもや野球の大好きな監督、コーチが8人で一緒に活動しています。

チームのOB・OGも中学生から高校生、大学生、社会人となり、後輩達にも優しく接してくれています。

地域活動も積極的に参加

これからの村を担ってくれる頼もしい存在になるように、地域活動や、学校行事を優先して活動しています。そのため、村で行われる駅伝大会や、相楽少年ソフトボール大会など地域のイベントにも積極的に、子どもだけでなく大人も参加しています。「大人が輝けば子どもが輝く」ともと、まずは、指導者も地域の皆さんと共に子ども達のお手本となる活動が必要とな

ると考えています。バーベキューをしたり、プロ野球の観戦をしたりと、レクリエーションも充実した活動を行っています。

大会に上位入賞

伊賀市や宇治市などの大会にも出場し、上位入賞するなど選手は力をつけ、大きく、たくましく成長しています。「一球入魂」という言葉のとおり、仲間を大切にすることと共に1球、1球を大切にすることが将来への成長を築き上げてくれるものと考えており、その中で得た「気づき」を大切にすれば、将来はプロ野球選手になる子が現れてくれるのではとも思います。



伊賀大会でベスト4入賞

達を時には厳しく、また時には優しく接していただき見守っていただければ幸いです。

一緒に活動してくれる仲間大募集！

一緒に活動してくれる仲間を大募集しています!!練習は、毎週日曜日を中心に南山城小学校グラウンドで朝の9時から5時まで行っています。見学、体験はいつでも大歓迎です。お子様、お孫様と共にぜひグラウンドへお越しください。

南山城Earth

監督 福本 敏伸 (田山)

議会だよりへのご意見・ご要望は議会事務局

☎0743-93-0121

またはd-gikai@vill.minamiyamashiro.lg.jpまで

「議会だより」は村のホームページでもご覧いただけます。

南山城村役場ホームページアドレス

<http://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp>

南山城村 議会だより

検 索

議会傍聴にお越し下さい

12月議会日程表 (予定)

12月5日(木)	一般質問
9日(月)	議案審議
10日(火)	予算決算常任委員会
11日(水)	〃 (予備日)
17日(火)	議案審議
25日(水)	会期末

〈表紙〉

小学校、6年生最後の力強い走り。

撮影日 9月28日